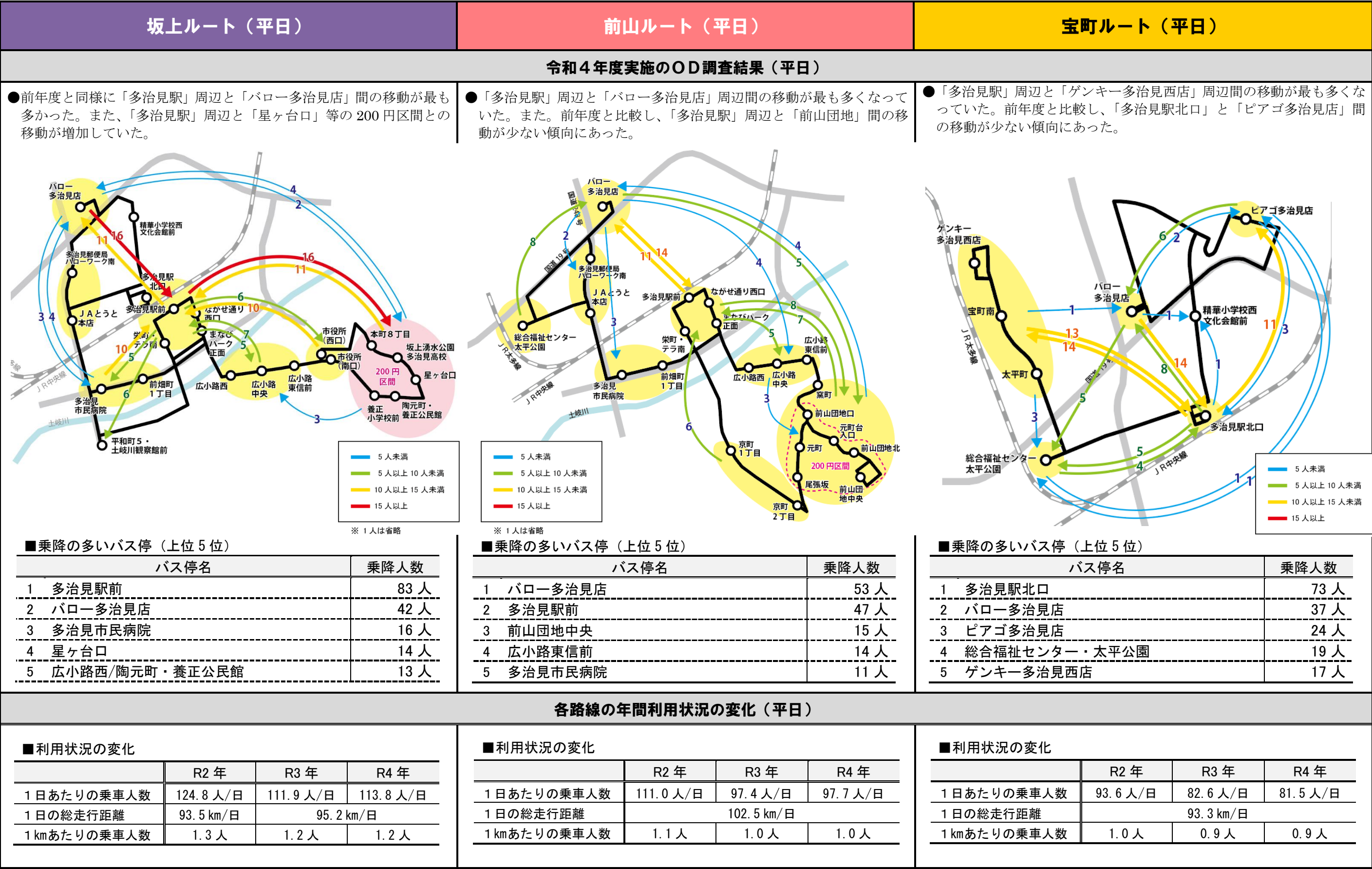


調査日	平日	令和4年11月10日（木）晴
	休日	令和4年11月5日（土）晴

令和4年度 ききょうバス中心市街地線 利用実態OD*調査の結果について【報告事項】

※OD調査：起点（origin）から終点（destination）を調査すること。

令和4年11月にききょうバスのOD調査を実施した結果、昨年度までと同様に中心市街地内の移動、特に病院やスーパーマーケットを目的地に利用されていることが確認された。今後も利便性向上のため利用実態を把握しつつ運行を継続します。



坂上ルート（休日）

前山ルート（休日）

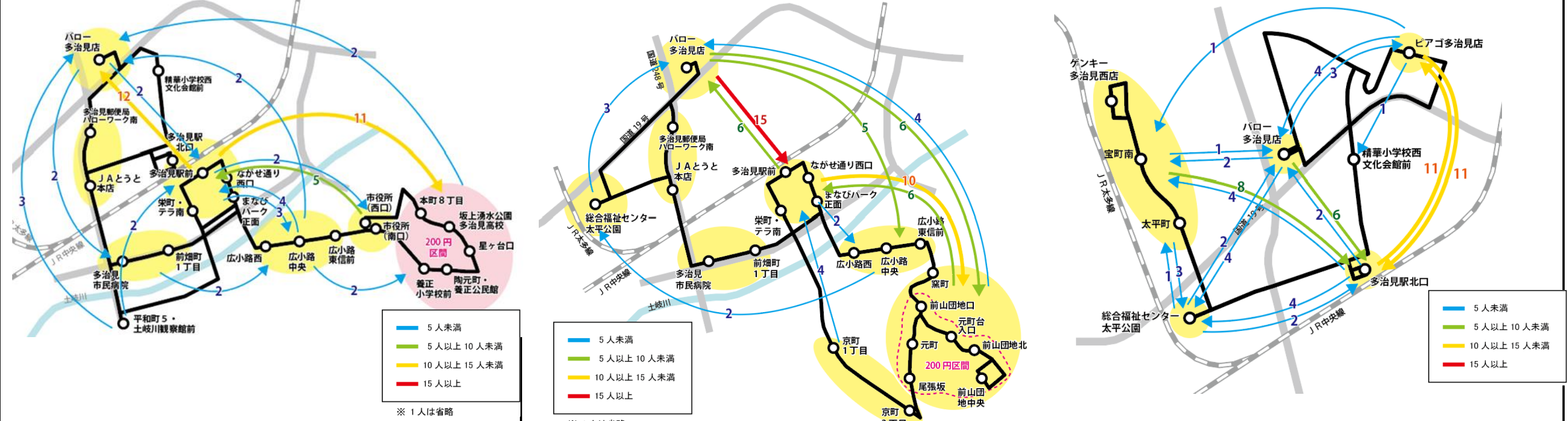
宝町ルート（休日）

令和4年度実施のOD調査結果（休日）

●平日と同様の移動傾向であり、「多治見駅」周辺と「バロー多治見店」周辺間の移動が最も多かった。

●平日と同様の移動傾向であり、「多治見駅」周辺と「バロー多治見店」周辺間の移動が最も多かった。前年度と比較し、前山団地への移動は少なくなっていた。

●平日と傾向が異なり、「多治見駅」周辺と「ピアゴ多治見店」周辺間の移動が最も多くなっていた。



■乗降の多いバス停（上位5位）

バス停名	乗降人数
1 多治見駅前	34 人
2 バロー多治見店	29 人
3 養正小学校前	10 人
4 広小路東信前	8 人
5 多治見市民病院/星ヶ台口/多治見駅北口	7 人

■乗降の多いバス停（上位5位）

バス停名	乗降人数
1 バロー多治見店	41 人
2 多治見駅前	34 人
3 前山団地中央	13 人
4 まなびパーク正面/総合福祉センター・太平公園	7 人
5 元町	6 人

■乗降の多いバス停（上位5位）

バス停名	乗降人数
1 多治見駅北口	48 人
2 ピアゴ多治見店	31 人
3 バロー多治見店	24 人
4 総合福祉センター・太平公園	17 人
5 ゲンキー多治見西店	15 人

各路線の年間利用状況の変化（休日）

■利用状況の変化

	R2 年	R3 年	R4 年
1日あたりの乗車人数	87.9 人/日	61.1 人/日	65.2 人/日
1日の総走行距離	93.5 km/日	95.2 km/日	
1kmあたりの乗車人数	0.9 人	0.6 人	0.7 人

■利用状況の変化

	R2 年	R3 年	R4 年
1日あたりの乗車人数	80.9 人/日	63.0 人/日	65.0 人/日
1日の総走行距離	102.5 km/日		
1kmあたりの乗車人数	0.8 人	0.6 人	0.6 人

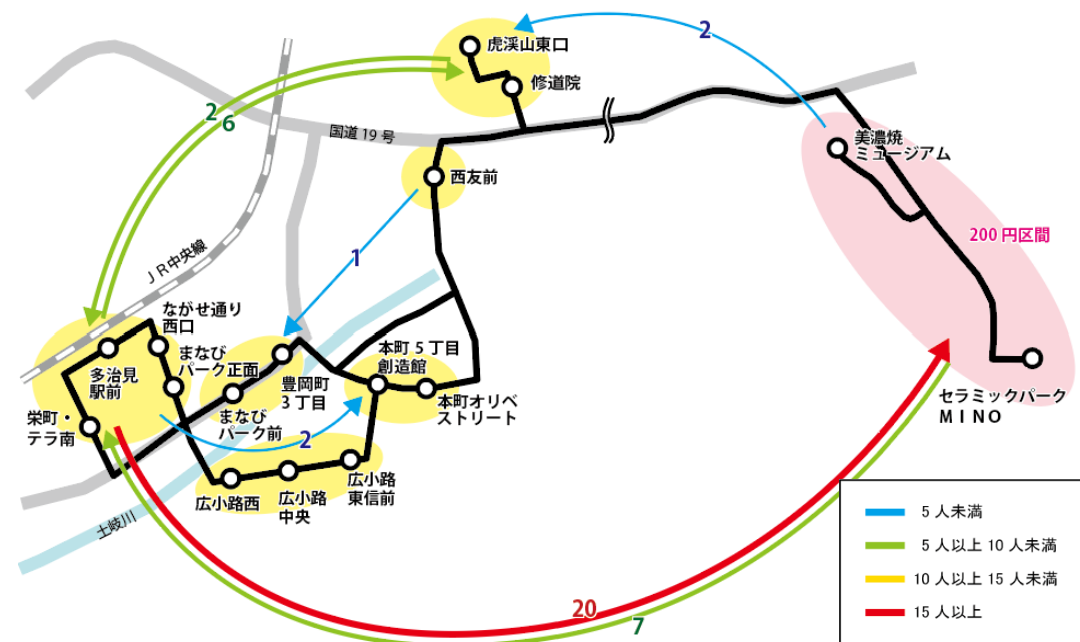
■利用状況の変化

	R2 年	R3 年	R4 年
1日あたりの乗車人数	77.9 人/日	60.2 人/日	65.0 人/日
1日の総走行距離	93.3 km/日		
1kmあたりの乗車人数	0.8 人	0.6 人	0.7 人

オリベ観光ルート（休日のみ）

令和4年度実施のOD調査結果（休日）

●前年度と同様に「多治見駅」周辺と200円区間の間の移動が最も多くなっていた。



乗降の多いバス停（上位5位）

バス停名	乗降人数
1 多治見駅前	36人
2 セラミックパークMINO	24人
3 修道院（着）	6人
4 美濃焼ミュージアム	5人
5 虎溪山東口	4人

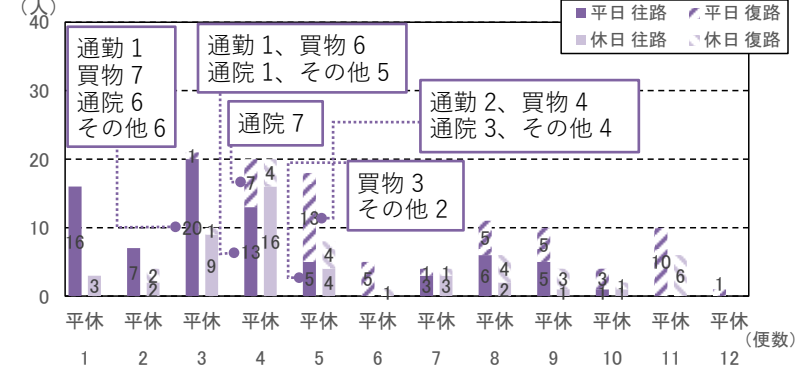
各路線の年間利用状況の変化（休日）

利用状況の変化

	R2年	R3年	R4年
1日あたりの乗車人数	39.5人/日	28.3人/日	28.7人/日
1日の総走行距離	66.0 km/日		
1kmあたりの乗車人数	0.6人	0.4人	0.4人

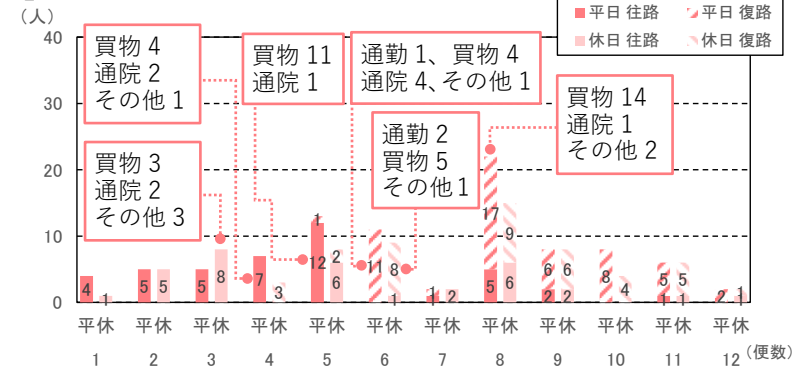
便別の乗車人数

【坂上ルート】



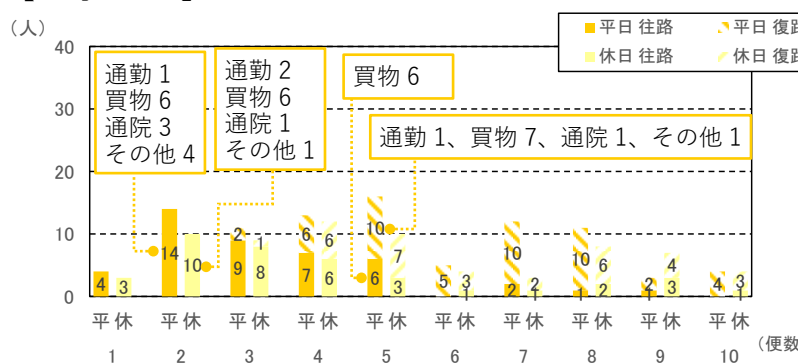
- 利用目的としては、買い物と通院利用が多い。
- 買い物利用は、平日午前の便の利用が多かった。
- 平日は4便までの往路利用が多く、5便及び11便での復路利用が多かった。
- 休日は3便及び4便での往路利用が多く、復路利用は5便以降でばらつきが見られた。

【前山ルート】



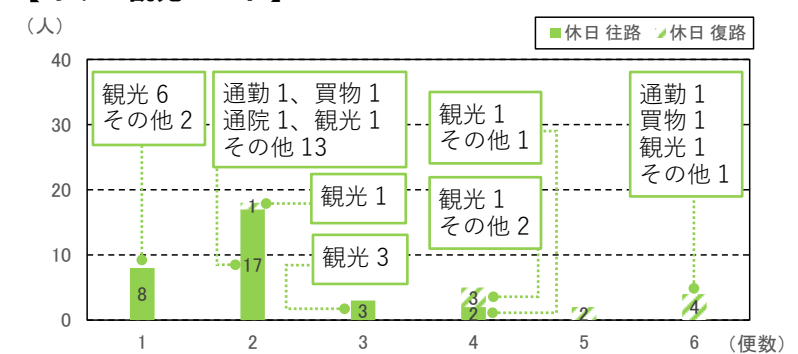
- 利用目的としては、買い物利用が最も多い。
- 昼頃の便（5便以降）より買い物の復路利用が多いことから、午前中に団地から買い物に出て、昼以降に帰宅する利用が多いと考えられる。
- 平日・休日ともに5便までが往路利用が多く、6便及び8便での復路利用が多かった。

【宝町ルート】



- 乗車人数のピーク時間は、平日・休日ともに2便（往路）及び5便（復路）だった。
- 利用目的としては、買い物利用が最も多い。

【オリベ観光ルート】



- 前年度と同様、各便に利用が分散される傾向が見られたことに加えて、2便の利用（5人⇒18人）が増加していた。
- ※2便の「その他13人」のうち11人は「イベント手伝い」のため
- 利用目的としては、観光利用が最も多い。
- 他の路線と比較して、往路利用に対して復路利用が少ない傾向にあった。